



ひ か り 結 ぶ ま ち

# かりや 景観れぽーと



テーマ  
住宅編 (その2)

VOL.8

発行日：平成13年10月1日

発行：刈谷市都市計画課

TEL (0566) 62-1022



## 駐車場の作法

Point 1 舗装面に配慮しましょう

Point 2 建物との調和に配慮しましょう

Point 3 塙、欄、門扉のデザインや植栽に心がけましょう

Point 4 設置場所を工夫しましょう



今回のれぽーとは「住宅」についての実践編を取り上げます。

その中でも、建物の前面に設置されることが多い「駐車場」の作法について、戸建住宅と集合住宅の2つの視点から紹介します。

皆さんで、刈谷を住みよい快適なまちにしてみましょう！

10月4日は  
都市景観の  
日です

# Point 1

## 舗装面に配慮しましょう

駐車場の舗装面は、建物の形態や色彩、素材などが持つ全体の雰囲気との調和に心がけ、合わせて周囲のまちなみの中でのバランスにも配慮しながら、様々な工夫を凝らしましょう。



戸建住宅



●美しい模様が施工されています



●まくら木が使われています



●レンガと植栽がバランス良く配置されています

集合住宅



●落ち着いた色の舗装面になっています



●緑の芝が景観を和らげています

※写真の中に ①印のあるものは、「景観形成のまめ知識」に詳しく紹介しています。

# Point 3

## 塀、柵、門扉のデザインや植栽に心がけましょう

塀や門扉については、まちなみに圧迫感を与えることなく、シンプルで洗練されたデザインとなるよう心がけましょう。また、駐車場の周りに樹木などを配する場合は、視界をさえぎることなく、立体的で緑豊かな雰囲気となるよう心がけましょう。



戸建住宅



●低木から高木の植栽で変化を作り出しています



●カーポートに絡む線が爽い感じさせます

※写真の中に ④印のあるものは、「景観形成のまめ知識」に詳しく紹介しています。

集合住宅



●高木を配置することで空間に爽い気になります



●わずかな植栽で効果的に演出されています

# Point 2

## 建物との調和に配慮しましょう

建物の形態や色彩などのデザインとの一体感に配慮し、全体としてスッキリとまとまった雰囲気となるよう工夫しましょう。



戸建住宅



●和風の建物に調和しています

集合住宅



●建物の壁面と同じ仕上げになっています

# Point 4

## 設置場所を工夫しましょう

特に集合住宅では、植栽によって視線を遮ったり、建物の裏側に設置するなど、通りから直接見えることのない配置に心がけましょう。

集合住宅



●植栽によって視線を遮ります



### ①まくら木



最近、ガーデニング用品として人気を集めている資材で、木の温もりを感じる空間づくりを行うことができます。中古品の他に新品のまくら木や、輸入品なども見られます。

### ②タマリユウ



草丈は5cm程で、寒さに強いユリ科の植物です。密生すると雑草が生えにくく、また、根付いてしまえば、特に手をかける必要もありません。ポット等で販売されています。

## 景観形成の知識

### ③ノシバ



土壌をあまり選ばず、暑さ乾燥にも強い芝で、管理が比較的簡単です。冬季は枯れた状態になりますが、春になると再び緑がよみがえります。張り芝と種子で販売されています。

### ④ヘデラ・ヘリックス



道路の中央分離帯や法面緑化などでよく利用されるツル性の植物です。自動車の排気ガスや、暑さ寒さに強い性質を持っているので、駐車場の緑化には最適です。

## チョットいっぷく…。 駐輪場での工夫

ちょっとした植栽などを行うことが効果的です。でも、集合住宅では、自転車をキチンと整理して並べる気遣いも必要ですね。



●緑で景観を和らげています



●ちょっとした工夫がアクセントになっています

## ● まちづくり活動紹介 ●

### ミニ万燈コンクール

東陽町商店街振興組合



8月4、5日の「万燈まつり」に合わせて、東陽町商店街が夏まつりの一環として「ミニ万燈コンクール」を開催しました。



ミニ万燈コンクールは、オリジナルな万燈の制作を広く募集しているもので、2年目を迎える今年は、小学生から40歳代までの幅広い年齢層の方々から32基の応募がありました。

作品は、人気アニメのキャラクターなどの可愛いものが多く、それら全ては、7月18日から8月5日まで商店街に飾られ、街並みに彩りを添えていました。

今回の活動紹介は、東陽町商店街振興組合の神谷幸子（理事長）さんと小澤遼造さんにお話を伺いました。

**Q** 東陽町商店街で、ミニ万燈コンクールを始めたいきっかけは？

**A** ミニ万燈コンクールは、地域の文化振興の一環として始めたものです。また、ミニ万燈の作成にあたっては、

東陽町の万燈保存会が小学生等に指導することもあり、こうした取り組みが地域文化の継承に役立っていくものと考えています。また、商店街への飾り付けを行うことで通行人の目を引き、地域の賑わいづくりや振興などに



役立っていることがあげられます。

**Q** 東陽町商店街で取り組む、今後の景観形成は？

**A** 現在、既に取り組んでいるアーケードへのイルミネーションの設置や、夏まつりの演出を兼ねて吊り下げる提灯など夜間の演出や、店先へのフラワーボットの設置など、商店街に彩りを添える取り組みを、さらに充実していきたいと思っています。

こうした身近な取り組みの充実を図ることから、各種施設の整備までを、みんなで考え共に協力して、「歩いて楽しい商店街」づくりを目指してがんばっていきたくと思っています。



## ひまわりあいランド

双葉小学校の3年生

双葉小学校は、総合的な学習の一環として、近所の農家から借りた土地（150坪）で、地域の人にも楽しんでもらえるようにと、1500本のひまわりの迷路「ひまわりあいランド」をつくりました。

3年生全員が5月中旬の種まきから始め、毎日の水やりなどを続けた結果、夏休みの登校日には、ひまわりは2m

近く伸び、太い幹の先に大輪の花を咲かせるまでになりました。

一生懸命にひまわりの世話をしている子どもたちの姿や嬉しそうに話す言葉、また「もっとひまわりを増やしたい」と学校のまわりにも目を向けた様子を見ると、近い将来、双葉小学校の付近は、ひまわりや美しい草花で囲まれ



たところになるだろうと楽しみになります。

こういった、まちに彩りを

添えていく取り組みが、もっともっと広がって、素敵なまちになるといいですね。